

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	エイズ予防対策	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	健康部 保健所	部	感染症対策	課 評価責任者(課長名)
					11-230
					中井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 61 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和60年3月に最初の事例が報告され、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び国の「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針(以下、エイズ予防指針という。)」が策定されたことに基づき、昭和61年から当事業を開始し、エイズを発病するHIV感染症の対策を講じてきた。対策の一つであるHIV検査においては、これまで検査結果がその日のうちに判明する即日検査や夜間の検査を実施することで受検者の利便性を高め、受検者数の増加に取り組んできた。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	全市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	市民に対してHIV/エイズの正しい知識を普及啓発することで、HIV感染のまん延を防止し、患者に対する差別や偏見をなくす。また、HIV検査・相談の機会を提供することにより、陽性者の早期発見、早期治療につなげるとともに、更なる感染の拡大を防止することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<input type="checkbox"/> 検査・相談体制 ・通常検査 各保健センターにて月1回実施 ・夜間検査 サンスクエア堺にて奇数月1回、6月の性感染症予防月間及び12月の世界エイズデーに合わせて各1回 実施(保健センター輪番制) ・休日即日検査 サンスクエア堺にて月1回委託実施 ・平日即日検査 堺市保健医療センターにて偶数月1回実施 <input type="checkbox"/> 知識の普及啓発 ・性感染症予防月間および世界エイズデーに関するパネル展示等による予防啓発を実施 ・啓発の一部は、大阪府及び保健所設置7市(大阪市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・堺市)で組織されるエイズ予防週間実行委員会にて共同実施 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター、エイズ予防週間実行委員会				

Ⅲ. 投入量

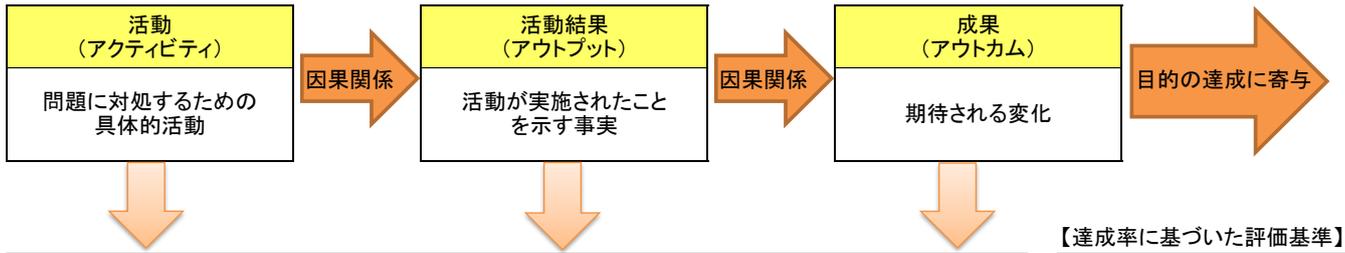
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	5,268	5,021	5,046	5,103	
11 主な事業費内訳	委託料	千円	2,889	2,776	2,361	2,247
	その他(需用費等)	千円	2,379	2,245	2,685	2,856
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円	2,377	1,157	1,743	2,102
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他(雑入)	千円		28		
一般財源	千円	2,891	3,836	3,303	3,001	
12 人件費 (b)	千円	7,790	7,380	8,200	8,270	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	13,058	12,401	13,246	13,373	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	エイズ予防対策	シート番号	11-230
-------	---------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績																																
活動実績と成果	14	<p>○検査・相談体制 平成30年度は通常検査を各保健センターで93回、平日即日検査を堺市保健医療センターで6回、夜間検査をサンスクエア堺及び保健センターで計8回、そして休日即日検査を特定非営利活動法人HIVと人権・情報センターに委託し11回(当初予定12回、台風接近により1回中止)実施した。 計118回の検査で受検者数の合計は1,168名と、前年度実績から1.5倍以上に増加している。これは、夜間検査及び休日即日検査の会場を見直し、より交通の便が良いサンスクエア堺に変更したことがひとつの大きな要因として考えられる。また、各保健センターでの通常検査においては他感染症の検査も同時実施しており、中でも流行のあった風しんの抗体検査希望者が大幅に増加した。それに合わせ、HIV検査についても呼びかけたことが受検者増の突発的な要因と思われる。検査日程の周知については、堺市広報紙、堺市ホームページ、全国的にHIVの検査実施情報が検索できるウェブサイト「HIV検査相談マップ」への情報掲載などを行っており、中でもインターネット媒体での広報は、受検者のアンケートでも検査を知ったきっかけとしてよく挙げられているところである。 また、HIV検査の事前相談や結果返しの際には、保健師がHIV/エイズに関する質問、相談に応じており、面接技術の向上のため、外部の研修にも積極的に参加している。</p> <p>○知識の普及啓発 6月の性感染症予防月間と12月1日の世界エイズデーに合わせ、市役所本館及び各保健センターにおいてパネル展示を実施したり、年間を通じ外部から提供を受けたさまざまな冊子等を配布、配架しており、また世界エイズデーを含む日程(11月30日から12月20日)で市役所本館エントランスへタペストリーを掲示するなどしている。 大阪府及び府下保健所設置市7市からなるエイズ予防週間実行委員会では、自治体をまたいだ協力による広域的な事業を実施している。一般層に向けては、堺市民も多く利用するJR天王寺駅及び大阪駅で11月26日から12月2日の期間中、ディスプレイに広告を表示できるデジタルサイネージへ啓発広告を掲載した。さらに、ハイリスク層であるMSM(男性と性的関係を持つ男性)へは、MSM向けの人気アプリ「9monsters(ナインモンスターズ)」へ広告を掲載し啓発ページや「HIV検査相談マップ」へ誘導するなど、個別施策が必要と思われる層へも時代に合わせた効果的な啓発を行うことができた。</p>																																
	15	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">通常検査・即日検査・夜間検査実施回数</td> <td rowspan="4">回</td> <td>目標値</td> <td>120</td> <td>120</td> <td>120</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>120</td> <td>121</td> <td>118</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>101%</td> <td>98%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>良い</td> <td>良い</td> <td>普通</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>算出方法・設定根拠など 通常検査 各保健センター月1回 夜間検査・即日検査それぞれ月1回。イベント開催時</p>	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	通常検査・即日検査・夜間検査実施回数	回	目標値	120	120	120	120	実績値	120	121	118		達成率	100%	101%	98%		評価	良い	良い	普通					
	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																												
	通常検査・即日検査・夜間検査実施回数	回	目標値	120	120	120	120																											
			実績値	120	121	118																												
			達成率	100%	101%	98%																												
			評価	良い	良い	普通																												
	16	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">HIV抗体検査受検者数</td> <td rowspan="4">人</td> <td>目標値</td> <td>744</td> <td>754</td> <td>731</td> <td>1,168</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>754</td> <td>731</td> <td>1,168</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>101%</td> <td>97%</td> <td>160%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>良い</td> <td>普通</td> <td>大変良い</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>算出方法・設定根拠など 前年度実績を翌年度目標に設定</p>	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	HIV抗体検査受検者数	人	目標値	744	754	731	1,168	実績値	754	731	1,168		達成率	101%	97%	160%		評価	良い	普通	大変良い					
	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																												
	HIV抗体検査受検者数	人	目標値	744	754	731	1,168																											
実績値			754	731	1,168																													
達成率			101%	97%	160%																													
評価			良い	普通	大変良い																													

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>○検査・相談体制 検査実施回数については、台風接近に伴い中止となった回もあり昨年度よりも減少しているが、対して受検者数は1.5倍以上に増加している。外的要因としては、登場人物がエイズを発症する映画が大ヒットしたことが考えられるが、今年度から夜間検査及び休日即日検査の会場より交通の便が良いサンスクエア堺に変更したことも大きな要因のひとつである。 また保健センターでの通常検査については、同時に抗体検査が受けられる風しんが流行し、希望者が増えたところにHIV検査についても呼びかけたことが影響したと考えられる。</p> <p>○知識の普及啓発 啓発については、性感染症予防月間や世界エイズデーに合わせたものを中心に、年間を通して計画的に事業を実施できており、一定の効果を上げている。</p>
----	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。